

冷凍・空調機器に含まれる冷媒の二酸化炭素換算値の表示(冷媒の見える化)の実施について

2009年11月より、店舗用エアコンでは、冷媒の二酸化炭素換算値の表示(冷媒の見える化)を行っています。

(社)日本冷凍空調工業会では、地球温暖化防止対策のための自主的取り組みの一環として、エアコンをはじめ冷凍・空調機器に含まれる冷媒の温暖化の影響度合いを表示する冷媒の「見える化」を行うことを決定しました。

この冷媒の「見える化」は、一般消費者や機器のユーザー、機器の設置工事・修理にあられる方などの広い範囲の方々に対し、冷媒の大気中への排出による地球温暖化の影響をご認識いただき、使用时排出の削減、廃棄時回収率の向上を図ることを目的としています。

「見える化」は、以下の例示のように、当該機器に含まれる冷媒の温暖化の影響度合いを二酸化炭素に換算してその値を表示するとともに、廃棄時などの適切な処理を呼びかける注意喚起表示が行われます。

■表示内容及び表示方法

冷媒	地球温暖化係数(GWP)*
R410A	2090
R404A	3920
R134a	1430

*CO₂を1とした地球温暖化係数。

①機器本体(室内ユニットと室外ユニット)に、充てんされている冷媒量について地球温暖化係数(GWP)を用いて二酸化炭素の量に換算した数値(冷媒充てん量の二酸化炭素換算値)を表示しております。

②大気中への冷媒排出抑制に関する事項(廃棄時の適切な処理を呼びかける)を表示

(1)ショーケース

①内蔵ショーケース表示例

基本は意匠右下にラベルを貼付



フロン使用機器

- この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロンを回収する必要があります。
- この製品には二酸化炭素最大 に相当するフロンが使用されています。

フロン類の二酸化炭素換算値を表示

②取扱説明書について

取扱説明書の仕様欄に冷媒充填量とCO₂換算値を順次記載します。

(2) 冷凍・冷蔵クーリングユニット

フロン回収・破壊法 第一種特定製品

この製品には冷媒として、HFCが使われています。

- (1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- (2) この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- (3) フロン類の種類及び数量、並びに冷媒の数量の二酸化炭素(CO₂)換算値は、製品銘版あるいはユニット内部の冷媒量記入ラベルに記載されています。

〈表示ラベル例〉

■冷媒の二酸化炭素換算値

(1) 冷凍・冷蔵クーリングユニット

シリーズ	形名	冷媒種	二酸化炭素換算値(トン)
冷蔵庫冷却システム	AFH-P05B	R404A	1.3
	AFH-P05RB	R404A	1.3
	AFL-P05RB	R404A	1.1
	AFL-RP08B	R404A	1.6
	AFL-RP1B	R404A	2.6
	AFL-RP1.6B	R404A	3.0
	AFL-RP2A	R404A	5.7
	AFR-RP1B	R404A	2.2
	AFR-RP1.6B	R404A	4.2
	AFR-RP2A	R404A	5.8
	AFR-RP3A	R404A	6.2
クーリングユニット	AFSV-SN40FGH	R404A	301.8
	AFSV-SN50FGH	R404A	341.0
	AFSV-SN60FGH	R404A	341.0

〈冷蔵庫冷却システム〉

注1：工場出荷時に封入してある冷媒量にて換算表記してあります。

現地配管長により追加チャージの実施の場合は、換算値が異なります。

〈クーリングユニット〉

注1：冷媒は工場に封入いたしません。現地にてご準備をお願い致します。

注2：上記は機器に最低限必要な冷媒量を示します。現地配管長にしたがって追加チャージ等実施する必要があります。